

バラシクロビル錠 500mg「ツルハラ」 腎障害患者・高齢者への投与について

バラシクロビル錠 500mg「ツルハラ」は活性代謝物のアシクロビルに変換された後、主として腎臓から排泄されるため、腎障害のある患者または腎機能が低下している患者、高齢者では、高いアシクロビル濃度が持続するおそれがあります。そのためこれらの患者では、クレアチンクリアランス(Ccr)によって投与量、投与間隔を適切に調節し、慎重に投与することが必要です。下表を参考に投与量、投与間隔を調節してください。

バラシクロビル錠 500mg「ツルハラ」の《用法・用量に関連する使用上の注意》（抜粋）

腎障害のある患者又は腎機能の低下している患者、高齢者では、精神神経系の副作用があらわれやすいので、投与間隔を延長するなど注意すること。なお、本剤の投与量及び投与間隔の目安は下表のとおりである。また、血液透析を受けている患者に対しては、患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチンクリアランス 10mL/min 未満の目安よりさらに減量（250mg を 24 時間毎 等）することを考慮すること。また、血液透析日には透析後に投与すること。なお、腎障害を有する小児患者における本剤の投与量、投与間隔調節の目安は確立していません。（以下略）

	クレアチンクリアランス(mL/min)			
	≥50	30~49	29~10	<10
単純疱疹	500mg を12 時間毎	500mg を12 時間毎	500mg を24 時間毎	500mg を24 時間毎
帯状疱疹 水痘(成人)	1000mg を8 時間毎	1000mg を12 時間毎	1000mg を24 時間毎	500mg を24 時間毎
性器ヘルペスの再発抑制	500mg を24 時間毎 なお、HIV 感染症の成人(CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、500mg を12 時間毎	500mg を24 時間毎 なお、HIV 感染症の成人(CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、500mg を12 時間毎	250mg を24 時間毎 なお、HIV 感染症の成人(CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、500mg を24 時間毎	250mg を24 時間毎 なお、HIV 感染症の成人(CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、500mg を24 時間毎

クレアチンクリアランスの区分（50mL/min 以上、30~49mL/min、10~29mL/min、10mL/min 未満）と適応症により、投与量と投与間隔の目安が異なります。なお、透析患者に投与する時にはいずれの適応症においても、250mg 1 日 1 回の投与量を考慮して下さい。

体内薬物動態には個人差があるため、目安どおりに投与された場合でも副作用が発現する可能性がありますので、そのような場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さんにご説明ください。

製造販売元

鶴原製薬株式会社

大阪府池田市豊島北 1 丁目 16 番 1 号